

## 平成30年度意見交換会の報告

PC建協では、8月から12月にかけて各地方整備局および沖繩総合事務局との意見交換会を行い、次のように総括を取りまとめました。なお、北海道開発局との意見交換会は平成31年2月26日を予定しています。

## 【総括】

本年度は、国土交通省において「働き方改革加速化プログラム」や「生産性革命プロジェクト」等の推進が図られる中、PC建協では「働き方改革」と「生産性向上」に重点を置き、さらに深化させることを目的に昨年度からの継続テーマも含めて次の4つのテーマについて報告・提案を行いました。

1. 年度工事量の安定的確保
2. 働き方改革の推進
3. 生産性向上の推進
4. インフラ長寿命化への対応

## 1. 年度工事量の安定的確保

最重要課題として強く要望したが、「予算確保や事業の進捗状況により、

平準とばかりはならない」旨の回答が多かった。ただし、地域拠点の確保のためにも年度工事量の安定的確保が重要な課題であるという点についてはご理解をいただいた。

## 2. 働き方改革の推進

## (1) 週休2日モデル工事の検証と課題の設定

① 適切(週休2日が実施可能)な工期の設定

② 技能労働者の年収、および妥当な工事利益の確保

③ 生産性向上に繋がる施策の実施拡大

④ 国交省以外の発注者への週休2日(4週8休含む)実施の指導

実態調査により得られた数値データをもとに課題抽出を行い、これにもとづく提案を行ったことは、すべての地方整備局等で良好な反応を得た。

## (2) 若手技術者の活用を推進する入札制度の提案

若手の活用については担い手の育成の観点から各地方整備局等とも提案趣旨の理解は得られた。また、各地

方整備局等で独自の制度で取り組んでいるとの回答が多かった。

## 3. 生産性向上の推進

本テーマでは次の3つの項目について提案を行った。

① スパン24〜45m程度の橋梁へのPCコンポ橋およびUコンポ橋の採用について

② 構造形式の選定にあたってプレキャスト技術の長所が適切に評価される方式の導入について

③ プレキャスト技術の推進のため運用に関する規制の見直しについて

「コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン」の策定が追い風となり、プレキャスト技術の採用拡大に理解を得られた。また、四国地方整備局、沖繩総合事務局、近畿地方整備局との意見交換会でUコンポ橋の模型を使用しているプレゼンを実施したが、非常に好評だった。

## 4. インフラ長寿命化への対応

(1) PC橋の維持保全事業における設計者と施工者が連携した取り組み

適用可能な案件がある場合は試行を検討したいという回答が多かった。

(2) PC橋の維持保全に関する地方自治体への支援

道路メンテナンス会議において、地方自治体支援を行っているという回答が多かった。



▲ Uコンポ橋の模型を使用しての説明



▲ 藤井会長のあいさつ

## 平成30年度道路功労者表彰

道路整備事業や道路愛護・美化保全などに推進・尽力した団体・個人を対象とした「平成30年度道路功労者」がこのほど発表され、PC建協が推薦した3人が表彰されました。

この表彰制度は平成26年から日本道路協会が行っているもので、毎年8月10日の「道路の日」に表彰状と記念品が贈呈されます。今年は66人と101団体が表彰されました。PC建協が推薦し、今回表彰された方々は次の通りです。

- ・(株)安部日鋼工業 加藤 正和氏
- ・川田建設(株) 向井洋一氏
- ・三井住友建設(株) 今泉孝氏



▲平成30年度道路功労者の表彰者

## 平成30年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰」

平成30年10月5日、東京都港区のメルパルクホールにて、平成30年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」、「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)」の顕彰式典が開催されました。今年で27回目です。

この建設マスターは優秀な建設技者を国土交通大臣が顕彰する制度で、現場経験20年以上で年齢40歳以上60歳以下などが対象となります。また平成27年からは若い技能者の育成促進策の一環として、現場経験10年以上で年齢39歳以下を対象とした建



▲表彰を受けた方々を囲んで

設ジュニアマスターを設けています。式典では、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成などに多大な貢献をした建設技能者422人が建設マスターとして、また、今後さらなる活躍が期待される技能者101人が建設ジュニアマスターとして顕彰されました。

PC建協からは建設マスターを4人、建設ジュニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。顕彰者は次の通りです。

### 建設マスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
木村 文男	59	(株)三基コンストラクション	川田建設(株)
白石 昌光	56	(有)仙波組	(株)HIインフラ建設
千代蘭 普崇	45	(株)山内組	(株)安部日鋼工業
中山 満	47	(株)鈴木組	極東興和(株)

### 建設ジュニアマスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
笹森 義弘	39	(株)オカモト・コンストラクション・システム	大成建設(株)
菅野 潤	38	晃永工業(株)	(株)富士ピー・エス

## 第27回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムに出展

PCに関する講演会や最新のPC技術が展示される「第27回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム(主催:PC工学会、後援:PC建協)」が平成30年11月8日と9日の2日間、愛媛県松山市の愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール)で開催されました。

PC建協のブースでは、Uコンポ橋の模型と四国地方のPCの主要事業のパネルの展示に加え、モニター上映を行い、多数の来訪がありました。

2019年は11月7日と8日に愛知県名古屋市のウイंकあいち(愛知県産業労働センター)で開催されます。



▲PC建協の出展ブース

## 現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

### 【北海道支部】

平成30年11月14日に(独)国際協力機構(JICA)の研修生を対象に北海道登別市のドービー建設工業(株)幌別工場のPC工場見学会を実施しました。JICA北海道開発技術センターの「道路維持管理Aコース」の一環で、中央アジアの8カ国10人が参加しました。見学会ではPCの概要と工場施設の説明後、プレテンションホロー桁、セグメント桁、枕木、PCポールの製造現場の案内を行いました。

### 【中部支部】

平成30年11月7日に滋賀県甲良町のオリエンタル白石(株)滋賀工場と岐阜県大垣市の「東海環状自動車道北方第3高架橋(PC上部工)」の工事現場(㈱ピーエス三菱)の2カ所(二社)建設コンサルタンツ協会中部支部の構造土質検討グループ約40人を対象に現場見学会を実施しました。まず滋賀工場でPCの概要などの説明後に施設見学を行いました。続いて北方第3高架橋へ移動し、事業概要と工事進捗を説明後、施工中のP

C構造物や建設機材を案内しました。同橋は橋長228m、有効幅員10.75mのPC6径間連続コンポ橋で、参加者からさまざまな質問が寄せられました。

また11月10日には三重県津市の市道江戸橋(上部工)の工事現場で三重大学生物資源学部3年生25人を対象に現場見学会を開きました。

そのほか10月以降に実施した見学会は次の通りです。

開催日	支部名	現場名 / 対象者	参加数
10月5日	北陸	昭和コンクリート工業(株)新潟工場 / 長岡技術科学大学	38人
10月10日	北陸	富山県 利田高架橋 / (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	35人
11月5日	関東	神奈川県 新東名高速道路 秋山高架橋 / 国士館大学	23人
11月8日	東北	秋田県 鮎川橋 / 秋田県、秋田県建設・工業技術センター	23人
11月10日	中部	三重県 江戸川橋 / 三重大学生物資源学部	25人
11月16日	関東	神奈川県 新東名高速道路 秋山高架橋 / (一社)建設コンサルタンツ協会	26人

## PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

### 【関東支部】

平成30年10月26日に東京大学工学部の3年生19人に「構造物の計画と設計」と題した講義を行いました。講義ではPCの技術の歴史や適用分野など概要全般と施工について解説し、学生たちは熱心に受講をしていました。

### 【北陸支部】

平成30年10月19日に金沢大学理工学域地球社会基盤学類の2年生72人に「PC構造物の維持保全」をテーマに講義を行いました。講義ではPC技術の歴史と適用分野、PC橋の施工の解説、北陸地方の代表的なPC構造物を紹介した後、緊張実演を行いました。

### 【九州支部】

平成30年10月9日に鹿児島大学工学部の学生19人に「PCの概要」と題した講義を行いました。講義ではPCの基礎と構造、PCを使った構造物の紹介、PC業界が社会の発展にどのように貢献しているのかとい



▲鹿児島大学での講義の様子

そのほか平成30年10月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次の通りです。

開催日	支部名	学校名
10月6日	関東	芝浦工業大学
10月23日	北陸	長岡工業高等専門学校
10月25日	北陸	富山県立大学
11月7日	関東	前橋工科大学
11月12日・14日	九州	熊本大学
11月13日・14日	関東	東京理科大学
11月14日・21日	北海道	苫小牧工業高等専門学校
12月5日・12日	関東	宇都宮大学
12月6日	関東	茨城大学
12月7日	北海道	函館工業高等専門学校
12月11日	関東	国士館大学
12月11日	東北	東北工業大学
12月14日	関東	日本大学理工学部
12月18日	北海道	北海学園大学

## 各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

### 【中国支部】

平成30年10月19日に広島県広島市のホテルメルパルク広島で「平成30年度PC技術講習会（主催：（二社）建設コンサルタンツ協会、PC建協）」を行いました。当日は約60人が聴講し、道路橋示方書改定、i-Bridge、PC橋の点検の要点、ロボット技術・ICTを活用した点検技術、積算に



▲ 約60人が受講したPC技術講習会

ついて図や写真を示しながら講義しました。

### 【九州支部】

平成30年10月4日に大分県大分市の大分県トラック会館で行われた「専門技術研修（主催：（公財）大分県建設技術センター）」で「橋梁の計画から施工まで」と題して講義しました。内容はPC橋の架設や実際の現場における施工管理のポイントで、自治体や企業の担当者など約30人が聴講しました。



▲ 橋梁の計画を聴講する参加者

そのほか10月10日以降に実施したPC講習会は以下の通りです

開催日	支部名	対象者	内容
10月10日	北陸	北陸地方整備局	道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅱ)研修
10月17日	東北	山形県建設コンサルタント三団体会員	計画のポイントと施工、PC橋のライフサイクルコストと耐久性向上技術、PC床版の耐久性向上技術と施工品質の確保
10月19日	九州	宮崎県建設技術センター研修受講者	PC上部工の劣化事例と補修・補強、耐震設計の概要、PC橋下部工の耐震補強事例
10月31日	関東	建設コンサルタンツ協会長野地区会員	PCの概要とプレキャスト技術(i-Bridge)、PC橋補修補強における設計・施工の留意点、道路示方書改定と最近の話題
10月31日	関東	首都高速道路職員	PC橋の施工、維持管理のチェックポイント
11月2日	東北	岩手県橋梁技術研修会参加者	橋梁の計画・設計のチェックポイント、架設工法と選定方法、新技術、新工法、施工事例
11月2日	関東	埼玉県職員、県内市町村職員	PC橋の概要、維持補修、道路示方書改定
11月13日	東北	東北地方整備局	道路構造物管理実務研修橋梁初級Ⅱ
11月16日	北海道	建設コンサルタンツ協会北海道支部会員	プレキャスト技術、設計施工、維持管理
11月27日	東北	福島県橋梁技術講習会参加者	コンクリート橋の設計・施工、チェックポイント、最近の話題
11月29日	関東	神奈川県職員	コンクリート橋の設計・施工、チェックポイント、最近の話題
12月3日	関東	茨城県建設コンサルタンツ協会会員	PC補修設計
12月6日	北海道	北海道職員	コンクリート橋のプレキャスト化ガイドラインの説明、防災対策、新技術紹介
12月7日	関東	さいたま市建設コンサルタンツ協会会員	H29道路橋示方書の改定

## 建設技術展示会に出展

最新の土木建設技術を展示する「建設フェア」が名古屋、広島、香川で開催されました。

### 【中部支部】

平成30年10月17日と18日の2日間、名古屋市吹上ホールで「建設技術フェア in 2018 中部（主催：国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会、後援：PC建協など）」が開かれました。今年も中部支部は会場内の学生交流ひろばへブースを出展しました。今回は「ピョンピョン板」を置き、学生や教職員などに体験してもらいました。



▲ 活況だった学生交流ひろば

## 【中国支部】

平成30年11月1日と2日に広島市南区の広島産業会館東館で「建設技術フォーラム2018 in 広島（主催：建設技術フォーラム実行委員会、協賛：PC建協）」が開かれました。今回のメインテーマは「『i-Construction』の進展と新技術で取組む地域の防災・減災対策、老朽化対策」で、中国支部のブースでは「i-Bridge」を題材に生産性向上の取り組みを紹介しました。

ブースにはPC橋の組立模型なども展示し、学生を中心とした大勢の来展者にPCの特徴をわかりやすく説明しました。



▲多くの学生が来展したPC建協ブース

## 【四国支部】

平成30年10月19日と20日に、香川県高松市のサンポート高松で「建設フェア四国2018 in 高松（主催：四国建設広報協議会、共催：PC建協）」が開かれました。テーマは「つくる・ふれる・まなぶ 未来のくらし博」で、約5000人の来場がありました。

四国支部もブースを出展し、橋梁模型の展示や液晶モニターにPC構造物などの紹介動画を放映するなどして積極的にPCのアピールを行いました。

2日間とも晴天に恵まれ、発注者関係者や学生、土曜日は家族連れの方などが多く来訪し、PCに関して興味を高めていただくことができました。



▲ピョンピョン板に乗ってPCの特性を体感する学生

## 全国道路利用者会議 第68回全国大会に参加

### 【関西支部】

平成30年10月18日に京都市左京区の国立京都国際会館で「全国道路利用者会議第68回全国大会」が開催されました。今回は1300人を超える参加がありました。そのなかでPC建協も16人が参加し、盛大に大会が終わりました。

## PC建築フォーラム in 松山 2018を開催

若い建築家や学生にPC建築の美しさや魅力を紹介する「PC建築フォーラム in 松山」が平成30年11月10日と11日に愛媛県松山市の愛媛大学で開催されました。主催は（NPO）PC建築技術支援センターと関西PC研究会、後援はPC工学会とPC建協です。

初日は28人の参加を得ました。まず「建築におけるPC技術の展開」と題した鈴木計夫関西PC研究会代表（大阪大学名誉教授）の基調講演から始まり、次に大野義照PC建築技術支援センター理事長（大阪大学名誉教授）がPC建築の事例を紹介されました。続いて（株）建設設計の大谷弘明氏と陶器浩一滋賀県立大学

教授が愛媛県美術館（愛媛県松山市）を題材にPC建築の事例を解説されました。最後に長谷川一美前橋工科大学教授の司会で「PC建築の魅力」をテーマとしたパネルディスカッションが行なわれました。

2日目はPC建造物の現場見学会が催され、21人の参加を得ました。当日は天候に恵まれ、愛媛県美術館、伊予市庁舎、道後温泉、今治市公会堂（市庁舎・市民会館）、しまなみ街道生口橋を丸1日掛けて巡り、参加者たちはPC建造物の美しさと魅力を改めて感じ入っていました。



▲愛媛県美術館を現場見学

全国から開通情報

【北海道支部】

後志自動車道

余市IC～小樽JCT 開通

平成30年12月8日に後志自動車道余市IC～小樽JCT(延長23・3km)が開通しました。今回の開通で札幌から余市までこれまでより約19分短縮しました。余市町中央公民館での開通式ではテープカットとくす玉開披で関係者など約250人が開通を祝いました。これに続いて余市ICでは自治体車両など約30台が通り初めを行いました。



▲ 後志自動車道 朝里川(あさがわ)橋

【東北支部】

主要地方道一関北上線 柵の瀬橋

開通

平成30年11月11日に岩手県一関市の北上川にかかる主要地方道一関北上線 柵の瀬橋(延長1313m、うち橋梁部693m)が開通しました。同線は平泉町と奥州市を經由して北上市に至る緊急輸送道路です。橋の中央で催された開通式には地元自治体の関係者など約300人が出席し、テープカット、くす玉開披、安全祈願祭、子どもとその保護者たちによる風船飛ばし、渡り初めで開通を祝いました。



▲ 柵の瀬橋 開通式

【四国支部】

国道56号片坂バイパス(四万十町西IC～黒潮拳ノ川IC) 開通

平成30年11月17日に高知県四万十町の国道56号片坂バイパス四万十町西IC～黒潮拳ノ川IC(延長6・1km)が開通しました。現在の国道56号片坂付近は交通の難所でしたが、今回の開通で高知県西南地域の交流促進や地域活性化、緊急輸送道路としての役割が期待されています。四万十町西ICでの開通式は地元中高生によるジャズバンド演奏、テープカット、くす玉開披、風船飛ばしが行われました。



▲ 片坂バイパス 市野瀬橋

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 樫福 浄(副委員長)、  
高松 正伸(副委員長)、 大信田 秀治、 鈴木 裕二、 吉山 誠之、  
石井 一生、 竹本 伸一、 的場 純一、 松嶋 憲昭

編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、 小谷 仁(副幹事長)、 荒畑 智志(副幹事長)、  
小出 武、 栗川 修、 南 浩郎、 大谷 圭介、 杉村 卓也、 木下 拓三、 菅野 隆、  
岡本 修一、 清水 郁子、 上田 孝明、 瀬戸 裕一郎、 岩崎 麻美、 小田切 隆幸

編集後記

今回のルポは、熊本地震から着実に復興に向けて歩んでいる阿蘇、そして数多くの神話の舞台となった高千穂を訪ねました。阿蘇では熊本復興事務所の方に地震後から今日までの状況や苦労話を伺い、その中に1日も早い復興に向けた熱い思いを感じました。高千穂では「天安河原」や「高千穂峡」の神秘的な風景に心を奪われました。皆さまも復興が進む阿蘇と神話の地・高千穂を訪れてみてください。

特別企画では「i-Constructionとi-Bridge」として、国土交通省及びPC建協における各種取り組み、建山先生の特別講演「建設技術の新たなステージ」を特集しています。少子高齢化による労働人口の減少により、官民挙げて進めている生産性向上について、具体的な取組内容を紹介しました。

身近なさまざまな場所で使用されているPC技術を紹介している『こんなところにPCが!』では、過去の掲載記事をまとめた特設WEBサイト(<http://www.pcken.or.jp/pcpress/special/>)を開設しましたので、ぜひご覧ください。(栗川)